

「サイバーセキュリティ対策セミナー」開催！

～SOMPOリスクアマネジメント・落合正人、平原伸昭氏が「中小企業経営者のためのサイバーセキュリティ対策」について講演～

大阪府中央会では11月15日（水）、マイドームおおさかにおいて22名の皆様にご参加いただき、「サイバーセキュリティ対策セミナー」を開催いたしました。

講演のテーマは「中小企業経営者のためのサイバーセキュリティ対策」、講師は SOMPO リスクアマネジメント株式会社の落合正人氏並びに平原伸昭氏。



落合 正人氏

まず落合氏より、1「サイバーリスクを取り巻く脅威の動向」として、(1)世界的に高まるサイバーリスクの重要性、(2)サイバーリスクによる国内事業環境の変化、(3)サイバーセキュリティにかかわる国の取組み、(4)企業経営のためのサイバーセキュリティの考え方、(5)中小企業のサイバーセキュリティ対策、(6)近時のサイバー攻撃の国内動向等について、レジュメに基づき詳しい説明が為されました。



平原 伸昭氏

続いて、平原氏より、2「IOTのサイバーリスク」として、最近のハッカーの祭典で話題となった電気自動車や情報家電のハッキング、スマートエントリー車を狙った新たな盗みの手口等について説明があり、「IOTスマートプラグハッキングシナリオ」による実演も行われました。

続いて、落合氏より、3.「サイバーセキュリティと事故」として、(1)サイバー攻撃によるセキュリティ侵害、(2)標的型攻撃メール、(3)DOS攻撃、(4)ランサムウェア、(5)サイバー攻撃リスクの特性、(6)サイバーセキュリティ対策の方向性と例について説明があり、また、4.「サイバー攻撃による緊急時対応について」として、対応の流れとコスト(不正アクセス調査費用、お詫び金、お詫び文郵送、コールセンター設置、弁護士・コンサルタント費用)について、参考事例を挙げながら詳しい説明が行われました。

最後に、サイバーセキュリティに関連する SOMPO リスクアマネジメント株式会社のサービスについて紹介が行われた後、「サイバー攻撃によるリスクは企業の存続を脅かす経営リスクの一つに変化している。サイバー攻撃の脅威の主流は「標的型」に変化し、攻撃手法はこれからもさらに変化していくことが予想される。その為には、予防策・検知策に加え、万一に備えたセキュリティインシデントに強いレジリエンスな体制を整備することが重要である」と述べ、今回の講演を締め括られました。

今回の落合氏、平原氏による講演は、近年増加しているサイバー攻撃から企業を守るためのリスクマネジメント対策を考えている中小企業経営者にとって大変参考となる有意義なものとなりました。

大阪府中央会では、今後もこうしたセミナーを定期的で開催し、中小企業経営者のお役に立ちたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非、次回以降も多数ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

